

ふるさと便り (広島県上蒲刈(かみかまがり)島)

皆さんこんにちは。梱包作業に就業している多賀谷則男と申します。

私は、高校を卒業するまで、広島県の上蒲刈島で暮らしてました。上蒲刈は呉市の南東約5キロの瀬戸内海に浮かぶ大小9つの島の1つです。今は呉市の一部になっています。

酒々井町ぐらいの大きさの島で、人口はそれほど多くなかったので、島中みんなが顔見知り。だから悪い事なんてできない。3日もすれば、島中みんなに知れ渡っちゃうから。個人情報なんてあったもんじゃありませんよ。

うちは両親は本土に働きに行っていたけど、島は、漁業よりもミカンなどの果樹栽培が盛んでした。秋になると島全体がミカンの色に染まって「まっきっき」になったんですよ。

家の前はすぐ海だったので、海は身近な存在。海に遊びに行ったら、すぐそ

こにいる牡蠣を取って、その場で石で割って食べてましたね。

中学生ぐらいになると、魯でボートを30分くらい漕いで沖に出て釣りをしたり、近くの無人島に遊びに行ったりしたね。上蒲刈の海は、本当に静かで、九十九里浜の波みたいになるのは台風の時くらい。その海に移る夕陽がきれいだったのを、今でも思い出すね。



瀬戸内海に浮かぶ上蒲刈島

職場便り (刈払機による草刈作業)

今回は、刈払機による草刈作業に就業している島田雅充さんにお話をお聞きしました。

島田さんは今年の5月の入会で、年齢は70歳。「3月で仕事を辞めたけど、動ける間は働きたいと思ってハローワークに行ったりしましたが、この歳ではなかなか見つからなくて。そんな時に回覧板にセンターの情報誌が入っていたんです。じゃあ、ちょっと話だけでも聞

いてみようかな。」ということで、事務局でセンターの説明を聞いて入会したそうです。

入会后、センターから6月に刈払機の取扱の講習会があると案内されたので、参加されたそうです。「草刈は、子供が野球をやっていた関係で、グラウンド周りを刈ったぐらい。なので、講習会に参加して、安全で正しい操作の仕方などをきちんと教えていただいて、とても勉強になりました。」とのこと。

その後、草刈作業に就業。「最初の内は刈りやすい現場を調整してくれて。また先輩会員の皆さんが、丁寧に教えてくれたので、初めてでも作業しやすかったですね。」

最後に「事故が起きないように注意しながら、仲間と協力し合って仕事を完成していくことに、新しい生きがいが出ました。」という言葉が印象的でした。



草刈作業中の島田さん

編集後記 葉酸は、大腸がんの予防に良いそうです。葉酸は、ほとんどの食材に含まれていますが、その中でも、のりは葉酸を多く含んだ「スーパー葉酸食材」とのことです。そして、のりと一緒に摂ると効果的な食材が、魚介類なんだそうです。先日、テレビでそんな話があり、早速試しています。(速藤登志枝)



今回の表紙は、先日開催された施設クリーンスタッフ講習の様です。



「今から?」を「今こそ!」へ
「今だから」シルバー人材センター

編集・発行:公益社団法人富里市シルバー人材センター 〒286-0221 千葉県富里市七栄653-2
富里市福祉センター内

電話:0476-90-1375
ホームページ: <http://www.sjc.ne.jp/tomisato/>
メールアドレス: tomisato@sjc.ne.jp

「自転車の重大事故」をなくすために

●高齢者の自転車事故が多発

聞き手 今回は、自転車事故について富里市シルバー人材センターの嶋田二三代主査補にお話をお聞きします。センターでは、会員の自転車事故について、啓発活動を行っているということですが、それはなぜでしょうか。

嶋田二三代（以下「嶋田」） センター会員の皆さんの交通手段については、自転車を利用している方が多くいらっしゃいます。しかし、一般的に自転車による60歳以上の方の事故が増加傾向にありますので、皆さんに注意喚起を行っている状況です。



●自転車事故の増加の原因

聞き手 どうして高齢者の自転車事故が増加しているのですか。

嶋田 高齢者の自転車事故が増加している背景としては、高齢者の人口が増えていることが挙げられます。また、自動車に乗るのをやめて、代わりに自転車を利用する方が増加しているのかもしれませんが。

聞き手 確かに、乗る人が増えて、乗る機会が増えれば、事故は増えますよね。

嶋田 そのうえ、自転車は不安定ですので、高齢者は、一般には加齢による反射神経・瞬発力や筋力の衰えが生じるため、とっさに足を踏ん張って転倒を防ぐことができなくなってきました。また、道路の路面の状況や自動車などの通行状況に対する目測や判断も誤りがちになります。

聞き手 よく聞く事故原因ですね。



嶋田二三代主査補

●自転車の転倒事故は重大事故の危険性

聞き手 自転車事故が増加している理由はわかりました。私も経験がありますが、自転車による転倒って、痛いんですね。

嶋田 ほんと痛いんですね。倒れそうになった時も、とっさに両足で踏ん張ることもできないため、転倒といっても、「バターン」と倒れてしまいますから。でも、それがとても危険なんです。例えば、横からのわずかな接触であったにもかかわらず、自転車は歩行中よりも頭位が高くなりがちなので、頭部から固いアスファルトの路面に転倒することにより、最悪死亡してしまうほどの衝撃を頭部に受けてしまいます。

●命を守るためにヘルメットの着用を

聞き手 死亡にいたるような事故を減らすためにはどうしたらよいのでしょうか。

嶋田 当センターでは、ヘルメットを着用することが一つの解決方法だと考えています。自転車事故においてヘルメットを着用している場合の死亡に至る確率は、ヘルメットを着用していない場合の確立の約半分というデータもあります。もちろん、ヘルメットによって命が救われるのは高齢者に限ったことではなく、自転車運転者全ての方に当てはまります。今は大変お洒落な自転車用ヘルメットがたくさん売られていますので、ぜひ皆さんもご検討ください。



自転車が加害者側になることを考えたことがありますか

自転車を取り巻く事故のリスク

自転車は、その気軽さや便利さの裏にさまざまな危険が潜んでいます。自分がケガをするだけでなく、歩行者にケガをさせたり、財物を壊したりするケースもあります。まずは、この3つの事故のリスクをしっかりと認識しましょう。



①自分がケガをする



②他人にケガをさせる



③財物を壊す(損害を与える)

自転車事故で問われる責任

自転車だから大丈夫。事故を起こしたとしても大事にはならない…。そんな軽はずみな気持ちで、死傷者を出す重大な事故につながります。

道路交通法上、自転車は車両の一種（軽車両）です。法律違反をして事故を起こすと、自転車利用者は刑事上の責任が問われます。また相手にケガを負わせた場合、民事上の損害賠償責任も発生します。

自転車での加害事故例

自転車事故でも被害の大きさにより数千万円の賠償金を支払わなくてはならない場合があります。この賠償責任は、未成年といえども責任を免れることはできません。

賠償金額	事故の概要
9,520万円	坂道を下ってきた小学5年の少年の自転車が歩行中の62歳女性と衝突し、歩行者の女性が意識不明となった。(神戸地裁:平成25年7月)
4,746万円	信号無視した会社員の男性46歳の自転車が横断歩道を渡っていた75歳の女性と衝突し、歩行者の女性が死亡した。(東京地裁:平成26年1月)

保険に加入して自転車事故の損害賠償に備える

自転車事故による損害賠償責任に備える保険として、例えば以下のような保険があります。

- ①自転車保険
- ②個人賠償責任保険
- ③自動車保険やクレジットカードの個人賠償責任補償特約 など

(保険によって補償の対象や内容は異なります。よくご確認ください。)

千葉県は、「千葉県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例（平成29年4月施行）」において、「自転車利用者は自転車事故の賠償に備えた保険の加入に努めること」とされています。

あなたと被害者を守るため、保険に入りましょう。